



西滝沢水辺プラザ夏まつり

7月22日(日)、西滝沢水辺プラザにて夏まつりが行われました。カヌー体験やバナナボート、ジャンボ滑り台や魚のつかみ取りなど、家族みんなで楽しめるプログラムが盛りだくさんでした。中学生のボランティアも参加してくれて、その場で焼いた魚や、石窯で焼いたピザ、焼きそばなど、出店も大賑わいでした。また第2部では水辺の音楽祭、第3部に水辺花火大会など、天候にも恵まれ、大盛況の一日となりました。



子吉川重要水防箇所合同巡視実施



洪水時に迅速かつ適切な水防活動を行うためには、地元水防(消防)団が注意すべき場所をあらかじめよく知っておく必要があります。

特に注意すべき場所とは『**洪水時、堤防などに危険が予想され、重点的な点検や水防活動が必要な箇所**』であり、これを、**重要水防箇所**といいます。

合同点検は有事に備え、秋田県、由利本荘市、消防本部、水防(消防)団などの関係団体と合同でこういった箇所の巡視を行い、情報を共有する事を目的としており、今年7月24日に実施しました。

門右喜中畑 慰霊祭

由利本荘市吉沢から国道108号線を矢島方向へ向かっていくと町境の坂の左下に、畑中喜右工門(はたなかきうえもん)の碑があります。この碑は、農民たちが当時名主であった喜右工門の遺徳を偲んで建てたものです。



万治元年一六五八年
滝沢郷吉沢村
(由利本荘市吉沢)

たび重なる洪水に苦しむ村人たちに心を痛めた喜右工門は、川の改修を代官所に訴えます。しかし代官は、これを強訴として捕らえ、農民煽動(のうみんせんどら)の罪で打ち首の刑を命じます。

死にあたって喜右工門はこう言います。

「我亡き後も靈魂はここにどまり、必ず川の流れを変えるであろう」

その後、豪雨、氾濫、大洪水を経て川の位置が変わり、流れが穏やかになったといわれています。

田地は広々とした美田となり、現在の繁栄をみるようになったそうです。

※参考文献『子吉川』

治水の恩人として伝説となっていますが、喜右工門は実在の人物です。毎年9月7日の命日に慰霊祭が行われています。子吉川のそばで生涯を終えたいという希望により、川の見える芋ヶ台で処刑された喜右工門ですが、碑はその場所に建っています。また、平成3年、同じ敷地内に新たに碑が建てられました。

川に命を捧げた名主の執念と治水の大切さを、今に伝えています。



【川の防災情報】URL



◇パソコンから→<http://www.river.go.jp/>
◇携帯電話から→<http://i.river.go.jp/>

◎ご意見・問い合わせ先 子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当
由利本荘市石脇字田尻29 電話 0184-22-6360
ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>

【秋田道川情報STATION⇒(上部タグ)事務所⇒出張所ホームページ⇒子吉川出張所】
または「子吉川出張所」で検索⇒ようこそ！子吉川出張所ホームページへ！をクリック